

自民歴史的大勝

衆院選 党史上最多の316議席獲得



奈良政経新聞

2026年(令和8年)
2月9日 月曜日

発行所
奈良政経新聞株式会社

〒634-0072
奈良県橿原市醍醐町118-14
TEL.0744-47-3344
FAX.0744-48-3338
info@naraseikei-np.com
www.naraseikei-np.com

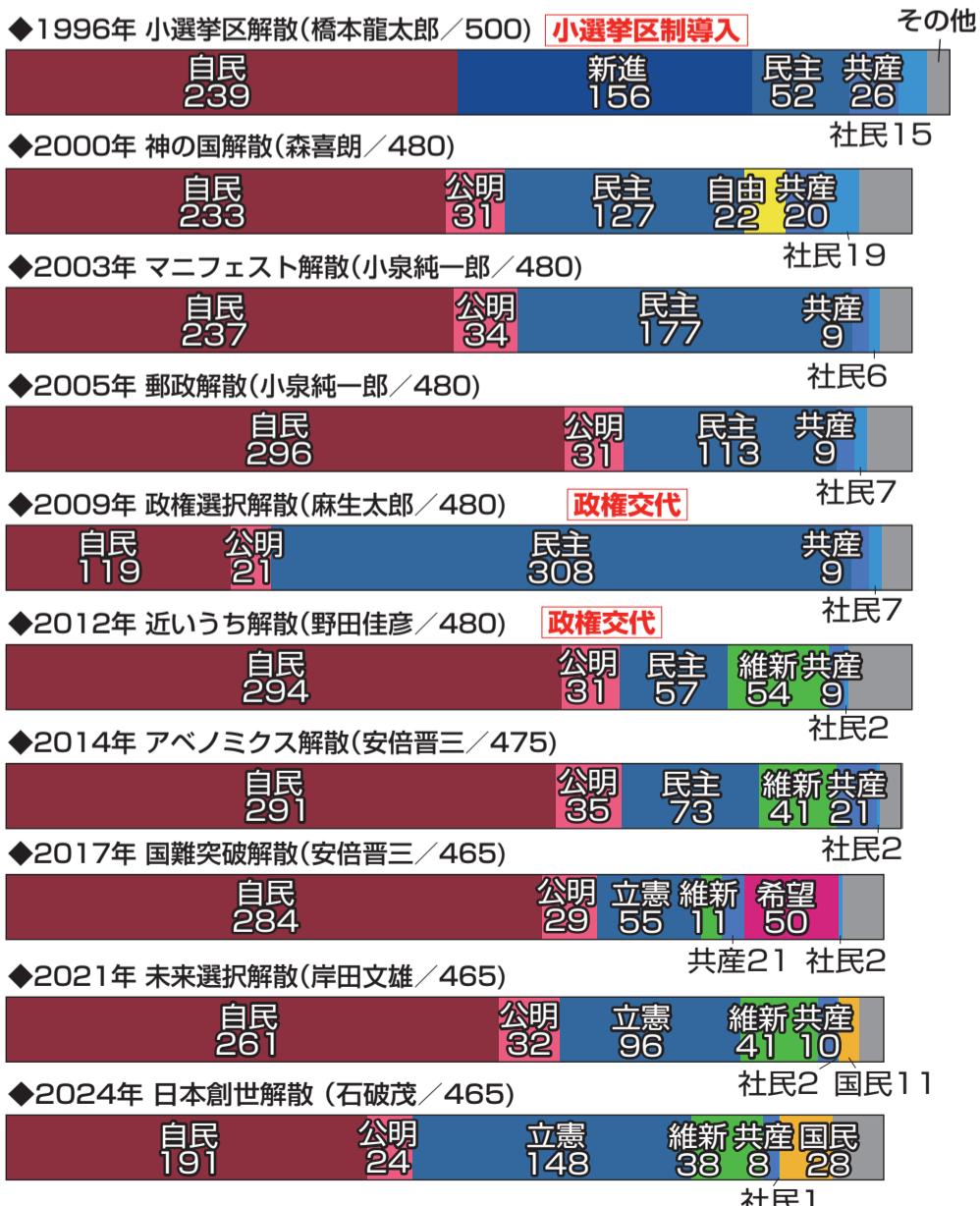
新聞購読の
お申し込みは
こちらから



号外

小選挙区制導入からの解散に伴う衆院選の主な政党の獲得議席

※解散年 主な通称(解散当時の首相/議席数)



第51回衆院選は、自民党が奈良県内の全ての小選挙区で10万票以上を獲得して大勝した。女性初、奈良県初の総理になった高市早苗政権下の解散総選挙は全国でも圧勝。中曾根康弘政権下で獲得した300議席超え、史上最多の316議席を獲得した。また小選挙区制が導入されてから小泉純一郎政権下で記録した296議席を上回る歴史的大勝になつた。

雪による投票率の低下が危惧された8日、県内の最終投票率は62.17%になり、一昨年の前回選より3.68ポイント上昇した。

投票が締め切られたと同時に県2区の高市早苗、県3区の田野瀬太道の両氏は当選確実。田野瀬氏は「真冬で戦後最短日程という厳しい投票が締め切られたと同時に県2区の高市早苗、県3区の田野瀬太道の両氏は当選確実。田野瀬氏は「真冬で

投票が締め切られたと同時に県2区の高市早苗、県3区の田野瀬太道の両氏は当選確実。田野瀬氏は「真冬で

投票が締め切られたと同時に県2区の高市早苗、県3区の田野瀬太道の両氏は当選確実。田野瀬氏は「真冬で

投票が締め切られたと同時に

投票が締め切られたと同時に